

分散會の事

○演説 西せじ日

殊留聊工候

諸君に被刺する非の憐れり歎由る考ふる時感慨  
 無量といふ吾人は造るしのの横田茶と虎を  
 5るるもとのとを比較し將來行し方り道を  
 満せぬはならずぬ三午の従業員の生命を保障  
 すあり、惨敗に終つた今回の戦は幹部の戰  
 闘的氣分を戰術の無力にあつたを組合組  
 織の継断的組織にあつたことに由り得る  
 故に將來は一層團結を鞏固し今午

芝浦その他三井系の役員本家の斯くの如き精  
 性者を出さば如何にして三井帝國を徹底  
 的に排撃しし世界の資本家に一大鉄鎚  
 右樂之物はならずぬ

被蘇首側

七月十日は五の事の名よりかき記念の日とい  
 へば吾人の正義の叫びは一庄治とせんとた念に  
 の日素、響きの對抗したる諸君は如何に自  
 醒めたか、忠とたる今回の能く度い明らか  
 なる事議は失敗したか、一大経験を待た  
 るは成巧いある 将予、世の浦の事議か